

平成 28 年度 鑑石園ヘルパーステーション 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 28 年度、ヘルパーステーションにおいては、従来の訪問介護事業に加え、平成 28 年度より開始された介護予防・日常生活支援総合事業における健康づくりヘルパーサービスも併せて実施した。職員体制については、平成 29 年 1 月の人事異動によるサービス提供責任者の交代をはじめ、他事業所との兼務状況等を見直した。

平成 28 年度の派遣件数は 2,476 件、1 日平均 8 件。利用者様の入院や施設入所等により下半期の派遣件数が低迷したことから、前年度を下回る利用率となった。

2. 事業計画実施状況

(1) 業務内容の充実

利用者数拡大を図る為に、市内の居宅介護支援事業所への年始挨拶や、関連事業所に毎月の利用状況報告などのために訪問した。ケアマネジャーとの情報交換を行い、信頼を得ることで継続的な利用の確保と、新規利用者獲得の為に働きかけを行った。

(2) 職員の資質向上

① 鑑石園職員信条の唱和

月 2 回行うケース検討会議の場において、鑑石園職員信条を唱和し、職員としての自覚を持ち、業務に臨んだ。

② 外部研修及び内部研修

富士市が主催する研修に参加し、職員の資質向上に努めた。また外部研修に参加した職員が講師となり、ケース検討会議の場で内部研修を行った。職務上必要と思われる内容については、ヘルパーステーション独自の内部研修として勉強を行い、職員の資質向上に役立てた。

・ 外部研修

6 月 複式簿記の仕組みについて

10 月 高齢者障害者虐待防止講座

介護サービス提供事業者説明会

2月 サービス提供者としての家族との関わりを習得する。

訪問介護における緊急時の対応

- ・ 内部研修

月	研修内容
4月	ヘルパー支援内容のあいまいゾーンについて
5月	災害時の対応について、自立支援の為とは
6月	総業事業について、食中毒防止について
7月	リスク対策、糖尿病について
8月	聞こえの勉強会、腎臓尿に配慮した食事
9月	個人情報取り扱いについて、自己評価表
10月	年末年始の営業、食事中の事故
11月	自己評価、感染症、スライディングボード
12月	富士市高齢者福祉サービス
1月	嘔吐物の処理、緊急時の対応
2月	ヒヤリハット事例、事故事例研究
3月	利用者入浴介助法確認、事例対応法

(3) サービスの質の向上への取り組み

① ケース検討会議

月 2 回のミーティングで、個々の利用者様についての情報交換や、伝達事項を周知した。ケース検討をするなどして、1 人ひとりの利用者様に対して理解を深め、ヘルパー全員が統一した援助を行えるよう努めた。

② サービス担当者会議への出席

必要に応じて随時開かれるサービス担当者会議に積極的に出席し、ケアマネジャー及び他関連事業所との連携を強め、利用者様へのサービスの質の向上を図った。

(4) 職員の健康管理

事業所においては、ヘルパー全員を対象に毎月の細菌検査と年に 1 度の健康診断、冬季にはインフルエンザの予防接種を実施した。

個々の職員による感染症予防対策として、手洗い、うがい、マスクの着用等を励行し、健康管理に努めた。